

## ユネスコ世界ジオパークネットワーク (GGN) 再認定審査状況

### 視察行程

8月6日 (月)

市町(時間)	視察場所等
鳥取市 16:00～ 18:00	<p><b>鳥取砂丘ジオパークセンター、砂丘地 (砂丘の保全と活用)</b></p> <p>ジオパークガイドにより、鳥取砂丘ジオパークセンターの展示解説を行いました。</p> <p>風紋発生実験装置による説明では、風紋が出来る仕組みを観察された。</p> <p>その後、砂丘地内の馬の背まで散策し調査杭などの説明を受けたほか、多くの観光客を受け入れるなかでの砂丘の保護・保全の方法について関心を持たれていました。</p>



8月7日 (火)

市町(時間)	視察場所等
鳥取市 10:45～ 11:00	<p><b>あおや郷土館 (視察：前回拡大エリア)</b></p> <p>あおや郷土館では、館内の展示や拡大地域の風土、2014年のエリア拡大から4年間のジオパーク活動について説明を行いました。</p> <p>審査員は、説明を聞きながら、時折質問されていました。特に鳴り砂に興味をもたれたようで、砂が鳴くメカニズムについて興味を持たれていました。</p>



市町(時間)	視察場所等
鳥取市 11:10～ 11:45	<p><b>夏泊海岸 (視察：前回拡大エリア)</b></p> <p>夏泊では、夏泊周辺の地形の成り立ちや、良好な漁場と地形の関係、海女さんの活動について説明を行いました。</p> <p>審査員は、海女さんに特に興味をもたれたようで、現在も海女さんのグループはあるのかと質問されていました。</p>



市町(時間)	視察場所等
岩美町 13:50～ 14:50	<p><b>浦富遊覧船（乗船、視察：ツーリズム）</b></p> <p>岩美町の浦富遊覧船乗り場では、運営について説明をうけてから、遊覧船に乗って浦富海岸の説明を行いました。</p> <p>あいにく波が高くかなり揺れましたが、天気が非常に良く、素晴らしい景色を見ることができ、とても楽しんでいただきました。</p>



市町(時間)	視察場所等
岩美町 15:00～ 16:00	<p><b>渚交流館（プレゼン：アクティビティ）</b></p> <p>渚交流館では、エリア内の様々なアクティビティ事業者が集まり、各取組みについてプレゼンを行いました。</p> <p>審査員は、ジオパーク内の資源をどのように活用しているか興味深く話を聞いておられました。また、香港からのお客様が増えている事について興味をもたれ、なぜ増えているのか質問されていました。</p>



市町(時間)	視察場所等
岩美町 16:05～ 17:00	<p><b>海と大地の自然館（視察：拠点施設）</b></p> <p>エリア内の拠点施設の一つ、海と大地の自然館では、展示コーナーや3Dシアターの見学の他、拠点施設として役割について説明を行いました。</p> <p>専門員の説明を聞いたあと、展示内容や入場者数、看板表示の内容等について質問され、拠点施設の状況を入念にチェックされていました。</p>

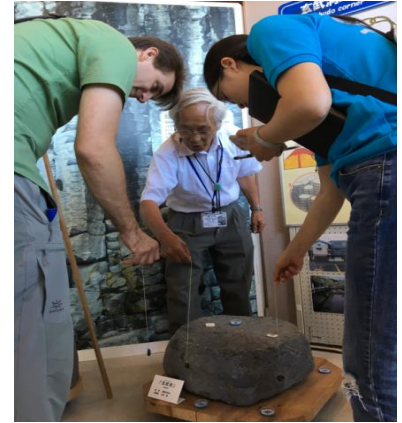


市町(時間)	視察場所等
新温泉町 17:30～ 18:30	<p><b>湯村温泉（荒湯）（視察：ガイド、パートナーシップ）</b></p> <p>新温泉町の湯村温泉では、推進協議会とパートナーシップを結ぶ旅館の取組みについて説明を受けた後、荒湯付近を散策しながら、この地域がいかにして温泉を活用して暮らしてきたかの説明を行いました。</p> <p>湯村温泉名物の荒湯卵は大人気でした。</p>



8月8日（水）

市町(時間)	視察場所等
新温泉町 8:50～ 11:00	<b>山陰海岸ジオパーク館（視察：教育・ガイド養成）</b> ジオパーク館館長から、日本列島のジオラマ、岩石展示コーナー、実験コーナーなどの解説が行われました。審査員は実際に展示物や実験装置に触れながら、子どもたちがジオパークについて楽しみながら学べる仕組みに感心されました。 続いて、ジオパークガイドからガイド養成の取組みについて、岩美西小学校教員からは子どもたちへの教育についてのプレゼンテーションが行われました。今後のガイド養成の取組みの展開と、子どもたちへの教育活動について審査員は期待されていました。




市町(時間)	視察場所等
香美町 11:10～ 11:45	<b>道の駅あまるべ（視察：地域住民の参画）</b> 餘部駅まで登り、なぜこのような高い場所に餘部駅が建てられたかを説明しました。また、審査員は地元住民からの餘部駅建設の歴史について説明を受け、餘部駅建設の苦労話などについて興味深く質問されました。昼食では地元食材を使用したジオランチ（お弁当）をおいしそうに食されました。





市町(時間)	視察場所等
豊岡市 13:25～ 14:10	<b>玄武洞（視察：地形地質遺産、外国人受け入れ）</b> ジオパークガイドから、外国人受け入れ体制の説明のほか、手作りの実験装置を交えて地磁気の逆転現象について説明が行われました。 審査員は青龍洞の壮大な景色に感動されるとともに、「なぜ節理が様々な方向を向いているのか」などの質問をされ、六角柱状節理に関する説明を興味深く聞かれました。




市町(時間)	視察場所等
<p>豊岡市 14:35～ 14:55</p>	<p><b>日和山ガイドセンター（視察：地質遺産の保全と活用）</b></p> <p>日和山で行われているジオパークを活用した観光事業の取組みについて、ジオパークガイドから説明が行われました。</p> <p>手作りの実験装置を用いた溶岩実験では、審査員から楽しくて分かりやすい説明と評価されました。</p> 

8月9日（木）

市町(時間)	視察場所等
<p>京丹後市 9:45～ 10:30</p>	<p><b>大成古墳（地質遺産・文化遺産のつながり）</b></p> <p>京都府の名称・天然記念物である立岩について説明しました。きれいな浜辺を維持するため、市民が参加する清掃ボランティア活動には感心されていました。</p> <p>大成古墳では、横穴式石室がそのままの状態に残されている状況を見学し、「石室の中には何が入っていたのか」など興味深く質問されました。</p> <p>審査員より「ここは地質サイトであり文化サイトでもある。また、地球のダイナミズムを説明するには良い場所である。」と評価をいただきました。</p> 

市町(時間)	視察場所等
<p>京丹後市 10:45～ 11:45</p>	<p><b>てんきてんき丹後（拠点施設、防災教育）</b></p> <p>ジオパークガイドが常駐し情報発信を行っていることや、小学生が作成した地図の展示などを示しジオパーク教育が盛んであることなど説明しました。</p> <p>実際に、峰山高校教師による野外学習「大地の学習」の解説が行われ、続いて、峰山高校3名の生徒により、北丹後地震による被害などをまとめた生徒製作「街歩きマップ」を用いて、防災意識を高めるためどのような活動なされているのか説明を受け、深い関心を示されていました。</p> 

市町(時間)	視察場所等
<p>豊岡市 14:00～ 14:45</p>	<p><b>コウノトリの郷公園（視察：自然遺産）</b>          氾濫しやすい円山川、周辺の遊水池や水田が水を溜める役割を持っており、このような特性をもつ土地で、人とコウノトリが共存していることなど説明しました。また、豊岡市長からコウノトリの野生復帰、ラムサール条約についての説明を受け、今後の取り組みについて期待されていました。</p> 

市町(時間)	視察場所等
<p>豊岡市 17:15～ 18:00</p>	<p><b>フィードバック・記者会見</b>          審査員2名より、この再認定審査についての総括がありました。</p> 